

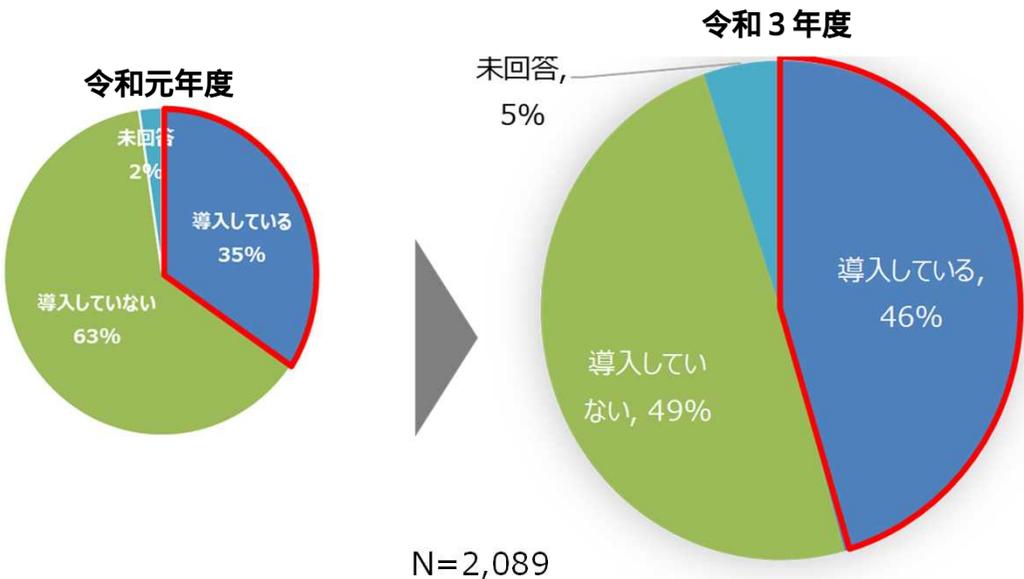
# 国土交通省所管分野のインフラの点検・診断などの業務における新技術等の導入状況

国土交通省所管11分野を対象に、インフラの点検・診断などの業務における施設管理者の新技術等の導入状況調査を実施した。その結果、令和元年度調査時より11%多い、**46%の管理者が導入**していることが明らかになった。  
 国・都道府県・政令市は99%（前回調査比+3%）、**その他市区町村は38%（同+7%）**が導入している。

## 令和3年度調査実施概要

実施時期	令和3年4月～7月
対象分野	道路、河川、ダム、砂防、海岸、下水道、港湾、空港、航路標識、公園、公営住宅
対象団体	都道府県、市区町村、国土交通省その他公共施設等運営権者等
調査対象時期	平成28年4月1日～令和3年3月31日
調査団体数	2,089団体（回答率：95%）

## インフラの点検・診断などの業務で、ロボットやセンサー等の新技術等を導入している施設管理者の割合



## 管理者別の新技術の導入状況

